

答 申

第1 山口県情報公開・個人情報保護審査会（以下「審査会」という。）の結論

山口県知事（以下「実施機関」という。）が令和6年（2024年）3月1日付け令5財政第166号で行った公文書不開示決定（以下「本件処分」という。）は、妥当である。

第2 審査請求に至る経過

1 公文書の開示請求

審査請求人は、令和6年2月15日付けで実施機関に対し、山口県情報公開条例（平成9年山口県条例第18号。以下「条例」という。）第6条第1項の規定により、「2月定例議会の令和〇年度決算報告（案）及び〇〇課による中小企業貸金においての債権放棄金額に関する全ての文書（メモ含む）」に係る公文書の開示請求（以下「本件請求」という。）を行った。

2 実施機関の処分

本件請求に対し、請求のあった公文書は、保有していないことを理由として、本件処分を行うとともに、その旨を審査請求人に通知した。

3 審査請求

審査請求人は、本件処分を不服として、令和6年5月30日付けで、行政不服審査法（平成26年法律第68号）第2条の規定に基づく審査請求を行った。

第3 審査請求人の主張要旨

1 審査請求の趣旨

本件処分の取消を求めるというものである。

2 審査請求の理由（添付書類は省略）

（省略）

3 実施機関の理由説明に対する意見

（省略）

第4 実施機関の説明要旨（弁明書より抜粋）

（省略）

第5 審査会の判断

1 本件処分の妥当性について

本審査請求では、本件請求の対象となる公文書を保有していないことを理由として、

実施機関が本件処分を行ったことの妥当性が争点となっていることから、この点について検討する。

山口県議会の２月定例会において決算報告はなされておらず、また、中小企業貸金に関することは〇〇課の分掌事務ではないことから、請求に係する文書を作成・取得していないとの実施機関の説明に、特段不自然、不合理な点があるとは認められない。

２ その他

審査請求人は種々申し立てているが、いずれも当審査会の判断を左右するものではない。

以上の理由により、第１の審査会の結論のとおり判断する。

第６ 審査会の審査経過等

別紙のとおり

別紙

審査会の審査経過等

年 月 日	経 過
令和 6 年 7 月 3 1 日	実施機関から諮問を受けた。
令和 7 年 1 0 月 1 0 日	事案の審議を行った。
令和 7 年 1 2 月 1 2 日	事案の審議を行った。

(参考)

山口県情報公開・個人情報保護審査会（第一部会）委員名簿

（五十音順・敬称略）

氏 名	役 職 名	備 考
通 山 和 史	弁護士	部会長
古 林 照 己	公認会計士	
服 部 麻理子	獨協大学教授	部会長職務代理者

（令和7年12月12日現在）